



『胃潰瘍の原因』

函館中央病院 消化器内科
大北 一郎 医長

略歴：平成14年東海大学医学部卒業。同年より東海大学医学部付属病院に勤務。平成19年同院消化器内科助教就任。海老名総合病院消化器内科への勤務を経て、平成24年より函館中央病院に勤務。同年、同院内科・消化器内科医長に就任。日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医。

どうして胃潰瘍になるのかご存知でしょうか。そのヒントとして、簡単に胃の仕組みをご紹介します。食べ物を胃で消化するために、酸性の強い胃酸および消化酵素などの胃液が分泌されます。胃液は食べ物だけでなく胃の粘膜をも溶かす力を持っています。通常は胃粘膜表面にある粘液で守られているため胃粘膜は消化されません。この胃液と胃粘液のバランスが崩れて胃液が強くなった場合や、粘液で守る力が弱くなった場合には、胃粘膜は消化され潰瘍が生じると言われています。

バランスが崩れる原因は、ストレス、喫煙や飲酒、暴飲暴食、刺激の強い食べ物などいろいろ言われてきましたが、最近では潰瘍の主な原因は胃粘膜に感染するヘリコバクター・ピロリ菌という細菌と薬剤の副作用によるものがほとんどとされています。薬剤の副作用の例としては、慢性的な関節痛や腰痛などで抗炎症薬や鎮痛薬を飲んでいる場合や、風邪薬などに使用される解熱鎮痛薬、脳梗塞や心筋梗塞などの予防に使われる抗血小板薬などが挙げられます。これらは胃粘膜の血流を低下させるため、その結果として胃粘膜障害を起こし胃潰瘍となります。

胃潰瘍は痛みなどの症状が出現

すると思うかもしれませんが、高齢者や薬が原因の場合はあまり症状を感じないこともあります。そのため突然出血や胃穿孔（胃に穴が開く）を起こし、命に関わることもあります。抗炎症薬や鎮痛薬などを長期間使用している場合は、医師に相談して胃薬を併用するなどの予防をすることが大事です。また定期的に胃カメラなどの検査をして潰瘍ができていないか確認するのもいいかもしれません。偶然に早期胃がんの発見にもつながります。また、一つの原因ではなくストレスを感じているときや暴飲暴食などが加わると潰瘍の危険性が増えます。そういうときはできるだけ胃に負担をかけないように気を付けましょう。

函館中央病院

函館市本町33-2
☎0138-52-1231(代)

診療科目／内科、消化器内科、循環器内科、産婦人科、小児科、外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科など全22科目

受付時間／8:30~11:30・13:30~16:00
※土曜は午前のみ。

診療科や時間帯によっては要予約。
休診日／日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)

<http://www.chubyou.com/>